

## すがわら文仁



## 続 衛生センターの復旧に全力を尽くします。

蕨戸田衛生センターの火災から3か月、一日も早い復旧と再発防止に向けた取組みが進んでいます。衛生組合では、警察・消防による調査に加え、学識経験者を交えた「火災に関する調査検証・再発防止対策会議」を設置し、令和8年1月を目途に報告書をまとめる予定です。焼損の状況から火災原因は完全に特定できていませんが、リチウムイオン電池が関係した可能性は否定できません。

戸田市では再発防止のための分別徹底や情報発信に努め、啓発を一層強化してまいります。

焼損した電源設備の仮設復旧により、「リサイクルプラザ」と「し尿処理施設」は8月中旬に稼働を再開しました。一方、ごみ焼却施設については令和8年3月の再稼働を目指し、電気施設等の復旧工事を進めております。

出火元の粗大ごみ処理施設については、来年度以降の機能回復を見込んでおり、焼損の状況を調査した上で今後の復旧の在り方を慎重に検討いたします。

現在のところ、3月のごみ焼却施設の再稼働までにかかる費用は約41億円となっております。その内訳は、他自治体へのごみ処理委託に約18億円、電源を含む施設の復旧工事に約21億円、仮設復旧や調査費に約1.8億円を見込んでいます。

戸田市と蕨市の費用分担比率は約59対41となっており、その財源は、①国の特別交付税（焼損した施設の復旧に要した経費の半額）や火災復旧事業債（地方債）に加え、全国市有物件災害共済会からの保険金などを活用して市民の皆様への直接的な負担を極力抑える方針です。

なお、来年3月の復旧までのごみ処理は、近隣自治体の協力を得て安定的に継続し、市民生活に影響が生じないように全力を尽くします。

9月8日 ▶▶▶

ごみの受け入れ  
にご協力いただいた  
自治体へお礼  
に伺いました。



川口市市長 奥野木 信夫氏



和光市長 柴崎 光子氏



本庄市長 吉田 信解氏



川越市長 森田 初恵氏



越谷市長 福田 晃氏



鶴ヶ島市長 齊藤 芳久氏



新宿区長 吉住 健一氏

このほか、戸田市ではこの度、外国人住民を含む幅広い市民が、正しい方法でごみ出しができるよう、リチウムイオン電池等の小型家電製品の分別方法を明記した「リチウムイオン電池等回収袋」を作成しました。この回収袋は、広報戸田市12月号とあわせて市内全戸に配布してまいります。リチウムイオン電池等は透明な袋に入れて「燃やさないゴミの日」に適切に廃棄をしていただきますようお願いいたします。

リチウムイオン電池等回収袋 ▶▶▶



今後は一日も早いごみ焼却施設の復旧とともに、1月の検証結果を真摯に受け止め、安全で持続可能なごみ処理システムを構築する決意です。市民の皆様におかれましては、引き続きごみの減量化と分別の徹底へのご協力を心からお願い申し上げます。

戸田市長 菅原文仁

## 市長最新ニュース



8/2 第72回戸田橋花火大会



8/7 戸田駅でレポート配布



8/9 平和首長会議(長崎市)



8/18 衛生センター記者会見



8/31 第51回ふるさと祭り



9/12 自殺予防キャンペーン



9/28 防災訓練



10/1 上森日南子さん表敬訪問



10/4 シルバースポーツ大会



10/6 元気ケア事業所表彰式



# 戸田市の財政

## 【公正で公平な税財源の確保】

日頃より、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

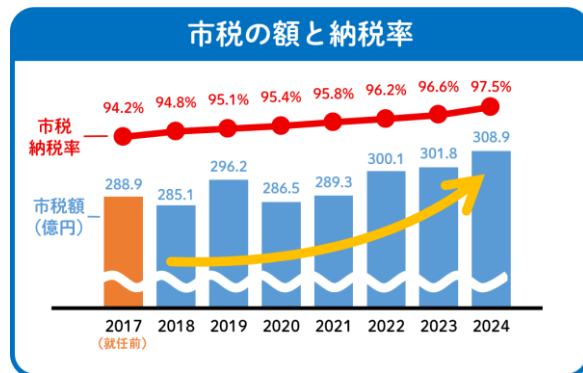
今回は行財政の根幹である「市税」についてご紹介します。

戸田市の令和6年度決算における市税額は、約309億円となりました。令和5年度と比べても7億円ほど増加しており、**市長就任以降、戸田市の市税額は右肩上がり増加しています。**

市長は課税や徴収の最終責任者です。私は就任以来、「まじめに納税している市民の皆様の税への信頼を揺るがさないこと」を基本姿勢として、公正で公平な税務行政に努めてまいりました。特に納税率の向上に力を注ぎ、年々着実に成果を上げています。以下、戸田市の税や財源の確保についてお伝えします。

## 【市税の確保と納税率向上】

戸田시는県内一、転出入が多く、これまで納税率が高くありませんでした。人口増加の中で戦略的な納税率向上策が十分に講じられてこなかったことも、その一因です。



## 7年で20.0億円増加

市税の柱である「個人市民税」は、行政の工夫により改善が可能な税目です。

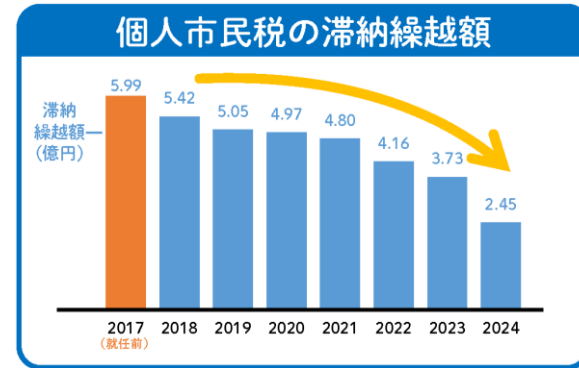
就任前の平成29年度末の納税率は94.2%でしたが、就任後、「県との人事交流によるプロジェクトチーム結成」、「徴収体制の強化」、「キャッシュレスを含む多様な納付手段の導入」などを進めた結果、令和6年度には97.5%にまで上昇しました。

納税率の改善により、市税額も平成29年度の288.9億円から、7年間で約20億円増加しています。市民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税の安定した確保により、子育て支援、教育、防災、高齢者福祉など幅広い施策を着実に展開することが可能となり、戸田市の成長と都市力の向上を支える大きな柱となっています。

## 【滞納額の圧縮】

一方で、市税の滞納は決して放置してはなりません。就任前の平成29年度には、個人市民税の滞納繰越額が約5億9,900万円(徴収率22.0%)と非常に厳しい状況でした。

そこで就任後、「滞納初期の方に寄り添う相談体制や計画的な納付支援」、「悪質な滞納者への厳正な対処」を段階的に実施しました。



## 7年で6割削減

その結果、令和6年度の滞納繰越額は2億4500万円となり、就任前から約6割削減し、徴収率も34.9%にまで上昇しました。

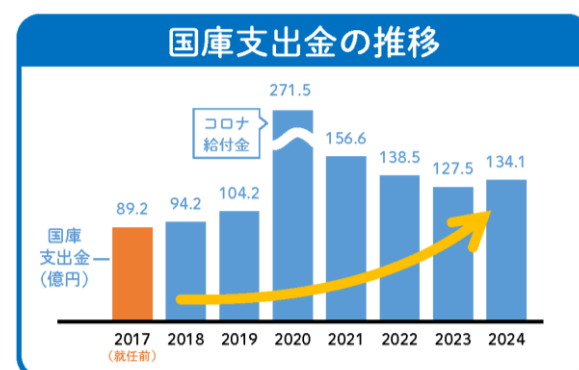
こうした取り組みが評価され、**戸田시는個人住民税徴収に関する埼玉県表彰を2年連続で受賞しました。**(令和5年度:収入未済額圧縮県内2位、令和6年度:納税率アップ県内1位)



## 【着実な財源の確保】

市の事業を進める上で重要なのが「財源の確保」です。戸田시는地方交付税不交付団体のため、国から恒常的な支援を受けられず、限られた条件で事業費を確保する必要があります。

そこで私は市の**一般財源の負担を減らすため、国庫支出金の活用を徹底的に進めました。**



## 7年で1.5倍増加

その結果、市の単独負担は減少し、より大規模な事業にも挑戦できるようになり、大きな成果を出せるようになりました。

就任当初からの私の口癖は、「その事業は国の支援を受けられますか?」です。

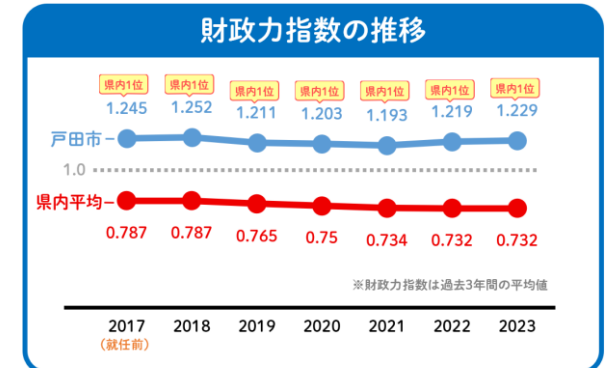
税収以外の財源をどれだけ確保できるかが、首長としての手腕を問われる部分でもあります。

## 【財政力県内トップを堅持】

戸田시는1983年以来、42年にわたり地方交付税不交付団体であり、最新の財政力指数の「1.229」は、一見すると豊かに映ります。

しかし、戸田市の財政のやりくりは年々厳しさを増しています。近年、国の新規事業が実施される際には、**不交付団体には財源措置が講じられないことや国庫補助率の引き下げなど、多くの制約を受けることが増えています。**

そうした中でも、戸田市の財政力指数は県内ナンバーワンの安定性を確保しております。



## 県内1位をキープ

## 【政治の根本は国民に】

税は国や社会を支える「信頼の証」であり、国民を苦しめるものではありません。

南洲翁遺訓の一節に、「**租税を薄くして民を裕(豊か)にするは、即ち国力を養成するなり**」と記されています。

今、政治が果たすべきことは、税をいたずらに引き上げるのではなく、まず行政の無駄を正し、不断の改善を積み重ねていくことにあります。そして、市民の皆様からお預かりした税金やその他の貴重な財源をしっかりと確保し教育・子育て・福祉・防災など市民生活に直結する公共サービスへ確実に投じ、地域産業を支え、経済の好循環を力強く生み出していくこそが政治の務めです。

私はこれからも、市民の声に誠実に耳を澄ませ、施策の中心に常に市民の暮らしと幸福を据えながら現場主義の市政改革を一層進めてまいります。



【略歴】1975年7月30日生 ■美谷本小・美笹中・伊奈学園卒業 ■日本体育大学卒業(教員免許) ■会社設立・経営(6年)  
 ■明治大学大学院修了 ■戸田市議会議員(2期6年) ■埼玉県議会議員(2期7年) ■第4代 戸田市長(現在)  
 ■戸田ボートレース企業団 企業長 ■蕨戸田衛生センター 副管理者 ■埼玉県体操協会 会長 ■埼玉県ローイング協会 会長  
 ■戸田市国際交流協会 理事長 ■環太平洋大学 客員教授 ■全国青年市長会 副会長  
 【趣味】読書・ランニング 【家族】両親・妻・娘・息子 【座右の銘】上杉鷹山翁「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」

討議資料

レポート102号発行 菅原文仁後援会  
 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F  
 TEL/FAX 048-432-3585  
 HP sugawarafumihito.com  
 Email mail@sugawarafumihito.com